

概 要 版

第4次 袋井市スポーツ推進計画

令和3年度～令和7年度



令和3年3月
袋 井 市



1

計画策定にあたって

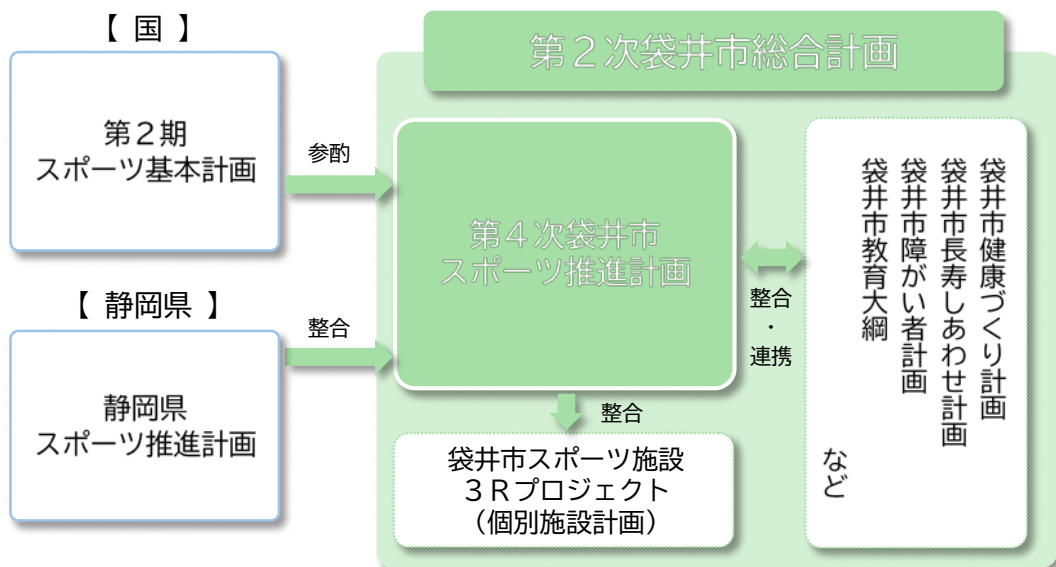
本市の「第3次袋井市スポーツ推進計画」（平成28年度～令和2年度）の計画期間が満了となることから、同計画に基づいて展開してきた施策や現在のスポーツを取り巻く状況、課題等を整理・検証するとともに、「スポーツ基本法」及び国・県の計画、さらには、新型コロナウイルスによる影響を含む社会全体の情勢を踏まえ、本市が計画的、かつ総合的に市民のスポーツ推進に取り組んでいくため、「第4次袋井市スポーツ推進計画（本計画）」を策定します。

2

計画の位置づけ

本計画は、国のスポーツ基本法に規定する地方スポーツ推進計画として、国の「第2期スポーツ基本計画」を参酌するとともに、平成30年に策定された「静岡県スポーツ推進計画」との整合を図り策定します。

また、本計画は、「第2次袋井市総合計画（後期計画）」を上位計画として整合性のある具体的な施策を定めるほか、本市における様々な分野の諸計画の内容を踏まえ、本市の将来像である「活力と創造で未来を先取る 日本一健康文化都市」の実現を目指します。



3

計画の期間

本計画は、令和3年度から令和7年度までの5か年を計画期間とします。なお、この期間中、計画の進行状況や社会情勢等の変化により、必要に応じて計画の見直しを行います。

計画名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
(国) 第2期スポーツ基本計画	→					
静岡県スポーツ推進計画	→					
第2次袋井市総合計画	前期計画	後期計画				
第4次袋井市スポーツ推進計画	第3次計画	→				

4

基本方針

本市のまちの将来像である、「活力と創造で 未来を先取る 日本一健康文化都市」の実現に向け、基本方針を以下の通りに掲げます。

だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも
親しみ、楽しむことのできるスポーツ文化の推進

5

基本目標

基本方針を実現するため、次の5つの基本目標を掲げ、それぞれの目標に対し、目標値を設定し各施策を計画的に展開します。

(1) 多様性に応じたスポーツ活動の推進

成果指標	現状値(R元年)	目標値(R7年)
成人のスポーツ実施率(週1回以上)	57.8%(R2年)	65.0%
子育て世代(30~40歳代)のスポーツ実施率(週1回以上)	50.9%(R2年)	58.0%
新体力テストで全国の平均を上回る種目の割合(小5・中2)	37.5%	68.8%
「運動が好き」と答える児童生徒の割合(小5・中2)	86.7%	92.0%
障がい者スポーツ大会参加者数	53人	65人

(2) 誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の提供

成果指標	現状値(R元年)	目標値(R7年)
袋井クラウンメロンマラソンの参加者	6,941人	7,500人
ウォーキングキャラバンの参加者	995人	1,100人
市内のスポーツ関連イベント等が新聞・テレビなどで取り上げられた回数	64回	70回

(3) スポーツ活動を支える環境の充実

成果指標	現状値(R元年)	目標値(R7年)
スポーツボランティア登録数	27人	55人
スポーツの大会やイベントにボランティアとして参加したことがある割合	21.9%(R2年)	32.0%
市内運動施設の利用者数	551,962人	625,000人

(4) アスリートの育成とトップスポーツに触れる機会の創出

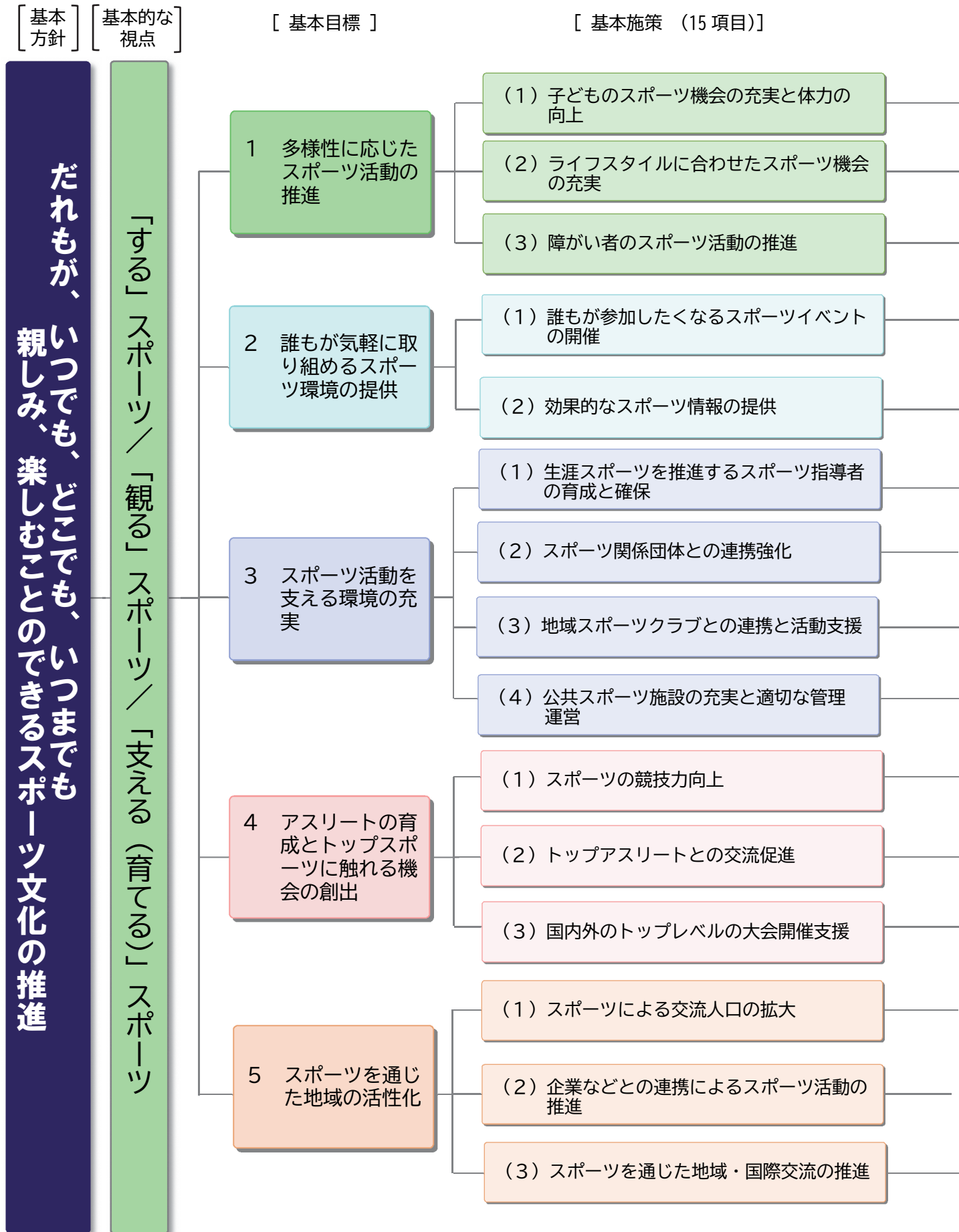
成果指標	現状値(R元年)	目標値(R7年)
スポーツ指導者派遣回数	170件	190件
全国スポーツ大会の出場者数	59件	70件
スポーツ指導者育成事業助成金交付件数	9件	27件

(5) スポーツを通じた地域の活性化

成果指標	現状値(R元年)	目標値(R7年)
この1年で総合体育館「さわやかアリーナ」またはエコパで観戦した割合	27.1%(R2年)	40.0%
この1年で総合体育館「さわやかアリーナ」でプロスポーツの試合や全国規模の大会を開催した回数	1回	6回

6

施策体系図



- 重点
施策
- (1) 新しい生活様式を取り入れたスポーツ活動の推進
 - (2) ジュニアアスリートを支える地域スポーツの充実
 - (3) 公共スポーツ施設の適切かつ持続可能な維持管理
 - (4) スポーツを核とする交流人口の拡大

[取り組みの方向 (40 項目)]

	重点施策			
	(1)	(2)	(3)	(4)
①幼児期からの運動あそびの推進 ②子どもを取り巻くスポーツ環境の確保・充実	○	○ ○		
①成人のスポーツ活動の充実 ②高齢者のスポーツ活動の充実とスポーツによる生きがいづくりの推進	○ ○			
①障がい者のスポーツ活動の充実 ②誰もが楽しめる障がい者スポーツの普及啓発・情報発信	○			
①市民スポーツイベントの開催・充実 ②地区まちづくり協議会や自治会などのスポーツ活動の支援 ③職場のスポーツ・健康づくり活動の支援 ④指定管理者などによるスポーツ教室・講座の充実				
①市民への効果的な情報発信と内容の充実 ②各種メディアを活用した市内外への情報発信 ③民間スポーツクラブ・スポーツ教室に関する情報発信	○			
①生涯スポーツにおけるリーダーや指導員の育成・確保 ②スポーツ推進委員の活動の充実				
①市スポーツ協会などの活動支援・連携強化 ②スポーツボランティアの確保・育成	○			
①総合型地域スポーツクラブとの連携強化 ②地域のスポーツクラブの活動支援		○		
①公共スポーツ施設の機能向上 ②民間のノウハウを活かした施設の管理運営 ③スポーツ施設の有効活用	○		○ ○ ○	
①ジュニアアスリートの育成・支援 ②優秀なスポーツ選手等の顕彰 ③競技スポーツ指導者の育成・確保		○ ○		
①トップアスリート育成のための支援 ②スポーツへの取り組み意欲を喚起する機会の創出				
①大規模スポーツ大会やプロスポーツなどの観戦機会の提供 ②トップレベルのスポーツ大会の誘致 ③全国規模のスポーツイベントの開催支援				○ ○
①市内スポーツ施設を活用したスポーツツーリズムの推進 ②全国大会やスポーツ合宿などの誘致・開催支援 ③スポーツイベントを活用したシティプロモーション ④ラグビーワールドカップ2019のレガシー創出				○ ○ ○
①企業と連携したイベントなどの開催 ②プロスポーツチームなどとの連携・協働 ③静岡理科大学との協働事業の開催				
①姉妹都市、友好都市などとのスポーツを通じた交流 ②アイルランドなどとのスポーツを通じた国際交流 ③外国人市民とのスポーツを通じた多文化共生の推進				

重点施策は、第4次袋井市スポーツ推進計画の基本目標を達成するために、計画年次である令和7年度までに、本市が重点的に取り組む項目として掲げるものです。

(1) 新しい生活様式を取り入れたスポーツ活動の推進

令和2年度には、新型コロナウイルス感染症の拡大により、家庭、学校、職場、地域における多くの活動が制限されるなど、生活様式が一変しました。スポーツ分野においても、大規模な大会やプロスポーツの中止・延期をはじめ、日常的なスポーツ活動にも大きな影響を及ぼしました。あらゆる社会情勢の変化にも対応し得る「新しい生活様式」を取り入れたスポーツ活動の推進をめざします。

- ① 感染症流行時等の安心・安全なスポーツ活動の推進
- ② ICTの活用による新たな情報発信・スポーツ実施方法の確立
- ③ 団体（グループ）活動の継続支援と個人によるスポーツ活動の充実

(2) ジュニアアスリートを支える地域スポーツの充実

市全体の競技力向上について、ジュニア期における質の高い指導者による指導機会や練習環境の充実、各世代間の一貫性のある育成体制などが求められているほか、中学校部活動の在り方の見直しによる地域スポーツでの受け皿確保・充実が求められています。

このようなことから、アクティブ・チャイルド・プログラムを通じて、幼児期から運動あそびに触れる機会を充実させ、ジュニアアスリートの土台となる楽しみながら身体を動かす習慣を定着させるとともに、市スポーツ協会や市内総合型地域スポーツクラブを中心に各世代や競技間の意見交換の場を充実させるなど指導者間の連携強化と子どものスポーツ環境の充実を図り、ジュニアアスリートを地域で“育て”“応援する”体制の構築を推進します。

- ① アクティブ・チャイルド・プログラムを活用した運動あそびの推進
- ② 市内スポーツ団体と連携したジュニア世代の地域スポーツによる受け皿の充実
- ③ 質の高い競技スポーツ指導者の確保・育成による競技レベルの向上
- ④ 学校部活（学校体育）と地域スポーツ（社会体育）との連携
- ⑤ 競技別選抜強化システムの構築



(3) 公共スポーツ施設の適切かつ持続可能な維持管理

令和2年4月に供用を開始したさわやかアリーナについては、市民はもとより、企業や市内在勤者の活用を促すとともに、PFI 事業での民間のノウハウを活かし、市民の憩いの場として地域の賑わいの中心となっていくことが期待されています。また、その他の公共スポーツ施設についても、その多くが指定管理者制度を導入しており、老朽化した施設の適正な管理運営を行うことはもとより、指定管理者の創意工夫により、市民の健康志向の高まりに加え、スポーツに対する多様化するニーズに対応するとともに、いつでも・安心・安全にスポーツ活動を行うことのできる環境を継続的に提供することを推進します。

- ① 「袋井市スポーツ施設 3R プロジェクト（個別施設計画）」に基づく適切な公共スポーツ施設の維持・管理
- ② PFI 事業者及び指定管理者と連携した公共スポーツ施設の利活用促進



(4) スポーツを核とする交流人口の拡大

総合体育館「さわやかアリーナ」や袋井駅前の新産業会館「キラット」とそれに併設するホテルがオープンしたこともあり、本市や県が所有する施設の有効活用やスポーツと観光資源の更なる融合による交流人口の拡大が期待されるため、スポーツと観光・産業分野との連携や関係団体との協働により、国内外からより多くの方に本市を訪れていただき、本市の魅力を感じていただく施策を推進します。

- ① 市内観光資源・宿泊施設と連携したスポーツツーリズムの推進
- ② エコパやさわやかアリーナでの大規模大会誘致・支援
- ③ スポーツ合宿の誘致・支援
- ④ エコパのラグビー聖地化などに向けた関係団体との連携



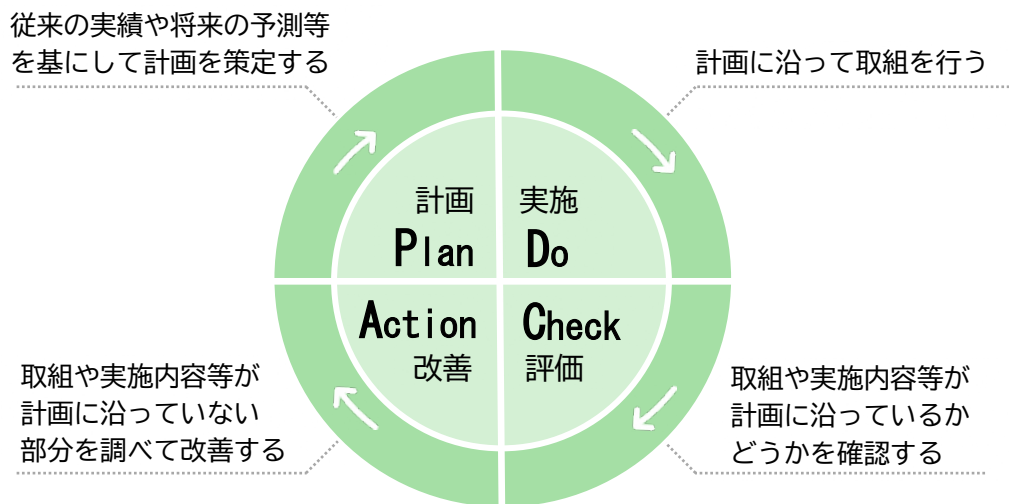
8

計画の推進体制

(1) 計画の進行管理

本計画を推進していくためには、計画の進捗状況を把握し、計画的に取組を進めていくことが必要です。そのため、計画の進捗状況の検証及び評価については、「袋井市スポーツ推進審議会」に報告し、改善の検討などを行います。

計画を効果的かつ着実に推進するために、「PDCAサイクル」[計画 (Plan) → 実行 (Do) → 点検・評価 (Check) → 改善 (Action)] を確立し、継続的に計画の進行管理を実施していきます。



(2) 行政における推進体制の強化

本計画は、スポーツ・健康づくりに関する事項を定めた他計画と調和が保たれたものでなければなりません。計画の円滑な実施のために、庁内関係各課と計画の進捗状況を共有し、取組を進めていきます。

(3) 国や県、周辺市町との連携

健康づくりへの関心の高まりとともに、スポーツ・レクリエーション活動に対する国民ニーズは高くなっています。国や県と密に情報交換を行いつつ、必要な助言及び適切な援助を受けるとともに、特に専門性の高い施策及び市域を超えた広域的な対応が必要な場合は、連携を強化して取り組んでいきます。

第4次袋井市スポーツ推進計画【概要版】

令和3年3月発行

発行者 袋井市市民生活部スポーツ政策課
〒437-8666 静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1
TEL 0538-44-3139 FAX 0538-44-3117